



人権教育講話 ～性的少数者（LGBT等）の人権を学ぶ～

9月18日（金）の総合・LHでは、高知県人権啓発センターの松下睦さんを講師に迎えて、『だれもが幸せに暮らすために～性的少数者（LGBT等）の人権～』と題した「人権教育講話（研修会）」を行いました。

はじめに松下先生から、研修で伝えたい2つのこととして「いろいろな性の捉え方がある」、「性的少数者の人権を守る」、守ってほしい3つのこととして多様性の尊重をキーワードに、「協力・尊重・守秘」、「学んだ事をからかいや悪口のネタにしない」、「SNSに勝手に投稿したり、拡散したりしない」との説明がありました。



講師の松下先生

研修では、昨年3月に県民に身近な人権課題に性的指向・性自認が定められたことや人には3つの性（からだの性・こころの性・好きになる性）があること、性的少数派のシンボルであるレインボーフラッグなどの話に続いて、性的少数者の内容に関するDVDの視聴とクイズを交えた解説がありました。解説の中では、「心無い言葉で傷つく人がある。差別的な言動を見かけたら良くない・やめようと言える勇気を持つ」ことや「もし打ち明けられたら本人の気持ちを大切に、一人ではないことを伝える。本人の了解なし他人に話していけない（アウティングは重大な人権侵害）」ことなどが話されました。

定時制の人権教育では、毎年「県民に身近な人権課題」の中から1項目を取り上げて、講師を招いて学習しています。今回の学習でも、生徒は振り返りシートに講話の中で心に残ったキーワードをたくさん記入して、内容の理解を深めました。生徒の感想の一部を紹介します。

- ・LGBTという言葉は知っていたが意味はあまり知らなかったもので、詳しい話を聞くことができて良かったです。カミングアウトしてきた人に対して、悪口を言ったり、からかいのネタにしないように気をつけたいです。
- ・感情や体格などが人それぞれで違うように、人の性のあり方も人それぞれで、それもその人の個性の一つで良いと思う。
- ・日本でも同性婚が認められる法律ができたらいいと思った。
- ・講師の人の話はすごく聞きやすかったです。さすがは元先生だなと思いました。

今日から郡体週間！

～練習して大会を迎えよう～



今年の郡体（高吾地区体育大会）は、26日（土）に本校を会場に行われます。今年は、県体（県体育大会）が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、卒業予定者にとって郡体が高校生活で最後の体育大会になります。

毎年、県体と郡体が行われる週は、1～4時間目の授業を短縮して授業後の約1時間を大会に向けた練習をしています。今年は、月・火曜日が休みだったこともあり、今日から3日間の練習しかありません。郡体週間の日程は、プリントにして各自に配付しました。日程と時間の確認してください。

今年の大会は、新型コロナへの対策として次の2点を行います。

- ・生徒と教員は、大会2週間前から朝夕の体温と1日の体調を「健康観察表」に記入して、当日提出します。
- ・大会は3校（高岡・佐川・須崎総合）の生徒（選手）と教員（監督や大会運営者）だけで行い、保護者や近親者、友人の方々が入場・観戦することはできません。

保護者の皆様には、お子様の活躍を直接観ることができませんが、ご理解・ご協力をお願いします。大会の様子は、次号の星空に掲載します。28日（月）は代休です。

国勢調査を知っていますか？



今年は国勢調査が行われます。校内に芦田愛菜さんの写真入りのポスターを掲示しているので、知っている人もいるかと思います。

国勢調査は、国が行う統計調査の中で最も重要な調査で、5年に1度行われます。調査の対象は、令和2年10月1日現在、日本国内にふだん住んでいるすべての人（外国人を含む）及び世帯です。調査事項は、世帯員と世帯に関する内容です。

○世帯員に関する事項（15項目）

- ・氏名 ・男女の別 ・出生の年月 ・世帯主との続柄 ・配偶の関係 ・国籍
- ・現在の住居における居住期間 ・5年前の住居の所在地 ・在学、卒業等教育の状況 ・従業地または通学地 ・従業地または通学地までの交通手段 など

○世帯に関する事項（4項目）

- ・世帯の種類 ・世帯員の数 ・住居の種類 ・住宅の建て方

この調査によって、日本の人口や世帯の実態がわかります。前回の調査では、「大正9年の調査開始以来初めて人口が減少した」ことや「一般世帯の3分の1以上が単独世帯である」こと、「日本に住む外国人が増加している」ことなどがわかりました。

調査への回答は、インターネットまたは調査票の提出で行います。みなさんの中に今回の調査で回答する人はあまりいないと思いますが、次回の調査では結婚して世帯を構えている人や就職や進学で一人暮らしをしている人は回答することになります。

次回の調査は5年後の2025年、大阪で万国博覧会が行われる年です。